



鶏 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『良い木は良い実を結び、

悪い木は悪い実を結ぶ』

聖書(マタイ福音書7章15節)

牧師 河合裕志

これは良い人は良い行いをしますよ、悪い人は悪い行いをしますよ、ということ。逆に良い行いをしている人を見ればその人は良い人だ、悪い行いをしている人は悪い人だとわかるよ、ということ。その人の良し悪しはその人の行いと密接に結び合っている。その人のやっていることを見ればその人がどんな人かわかるよということ。

イエスはこの言葉の前でこう言っている。『偽預言者を警戒しなさい。彼らは羊の皮を身にまとってあなたがたのところに来るが、その内側は貪欲な狼である。あなたがたは、その実で彼らを見分ける。茨からぶどうが、あざみからいちじくが採れるだろうか』。

具体的な例として偽預言者をあげている。その預言者が本物か偽物か、これはどこで見分けたらいいのだろうか。この牧師はどうか、この先生はどうか、この政治家はどうか、この人はどうか。その識別は「その実で彼らを見分ける」ということ。その実際になしているところで判断する。もしその者が貪欲であるならば本物ではなく偽物ということに。この貪欲さは通常は表に出なくて隠されているけれど隠し通すことは難しいのでは？ その言動にそれは折にふれ

ジワーと出て来る。それを見抜くこと。その人にだまされないこと。偽預言者はトゲトゲのある茨のようなもの。甘いぶどうの実のような、人のためになる良い行いをしてはくれない。自分の利益のみをはかろうとする。そのやっていることを見ればその人がどんな人なのかわかってくる。

その実で、その行為でその人がどんな人間かを見分けることはその通り。だから私達も行動には充分注意しなければ。悪事は極力しりぞけ善行を心がけねば。私は良い人間であると評価されたいもの。悪人とは見なされたくないもの。

良い実を結ぶ良い木になる。これは大きな大きな課題。そんな簡単には行かない。だって人間はエゴの固まり。なかなか人助けのために多少の金品を差出したり、労力や時間を提供することが難しい。人のことなんかかまっていられない、これが正直なところ。そんな私達だけけれどこの固まりに穴をあけてくれるものがある。それは身に受けた親の深い愛情であったり、友の友情であったり、無償の愛に生きた人の存在であったり、イエスの愛であったりする。こんな人々を思うことは私達に愛を、優しさを、親切心を起し強めてくれる。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時